

# さやまの今本

## 8月は入間川の 七夕まつり

狭山市、夏の一大イベントといえば、何といても、歴史と伝統に育まれた、入間川七夕まつりです。本来、7月7日が七夕ですが、狭山市では、1か月遅れの8月上旬の土曜日と日曜日に行われています。



お祭りは、昔は農家で笹竹に、サトイモの葉っぱにたまつた露で墨を摺り、赤や青の短冊に願いごとを書きました。これは、字が上手にかけますように七夕さまと願う子ども達の想いと、大人は、五穀豊穡・無病息災と書き、お供え物をする事で豊作を願ったとされています。また、夏の日照りによる干ばつが起らないようにとの願いも込められ、雨乞い祭りとしての意味もあつたそうです。

その後、地元商店街が中心となり、竹飾りも豪華になり、入間川の夏の風物詩として、関東三大七夕まつりの一つとまで、いわれるようになりました。私は毎夏、スケッチに出かけますが、七夕通りの路地から見える風景がとても好きで、毎年楽しみにしています。

### 市民の作品展

## 童句

童句は、自分が童心に帰って詠む俳句です。狭山市童句研究会の選による作品を掲載しています。

- 梅雨の蝶 ふうふう渡る 赤信号 大沢 久美
- 熟れる日を 鳥も待つてる さくらんぼ 高橋千恵子
- 息凝らし 線香花火を 競い合つ 堀田 昌江
- 祭終え 家族の増える 金魚鉢 笠本 睦子
- すべり台 かけのぼり見る 夕焼空 金子美洋子
- おじぎして 捕る野仏の ほおのせみ 創始者 土家由岐雄

### 編集後記



今市内では官民協働の地域づくりが地区センターや各自治会などを中心に行われています。先日、新狭山地区では、あじさい祭り並びに国際交流の集いととも、市も開催され、雨天にもかかわらず大変な賑わいでした。取材をとおして、これらの行事が、外国人との共生を地域にアピールし、開かれたまちづくりにつながることを実感しました。今後、広報紙やホームページなどで市民の皆さんの活動を積極的に紹介していきますので、どんな情報をお寄せください。

### 分かるかな？

## 今月の写真クイズ

写真は、今月号に掲載した写真の拡大写真です。何ページの何の写真でしょうか？



正解者の中から、抽選で5名に記念品を差し上げます。官製はがきで広報課までお送りください。なお、答えと一緒に広報さやまを見て感じたことなど、ご意見もお待ちしています。 締切り7月31日 6月号の答え



8ページ・ひとまち写真館 まちのイメージキャラクター「おりびい」の写真でした。

### 👁️で見る「さやま」

人口と世帯(市民課) 7月1日現在。( )内は前月比

住民基本台帳人口	外国人登録人口
男 79,062人(+3人)	985人(+7人)
女 76,834人(-55人)	1,284人(+4人)
合計 155,896人(-52人)	2,269人(+11人)
世帯 63,610世帯(+14世帯)	1,647世帯(+9世帯)

6月の火災・救急件数(消防本部)

火災件数 6件(建物3件、車両1件、その他2件)
救急出動件数 446件(搬送人員413人)
交通事故・刑法犯罪件数(狭山警察署)
交通事故 1,486件(人身事故367件 内死者3人、物件事故1,119件)
刑法犯罪 933件(侵入窃盗64件、車上狙い180件、自動車盗等78件、その他711件)

平成21年1月1日~6月15日の累計(概数)



公式モバイルサイトのQRコード  
QRコードに対応した携帯電話で読み取ると簡単にアクセスできます